

地域連携だより 第21号

2012.6



症例報告

005

消化器センター 消化器内科 中井 一成

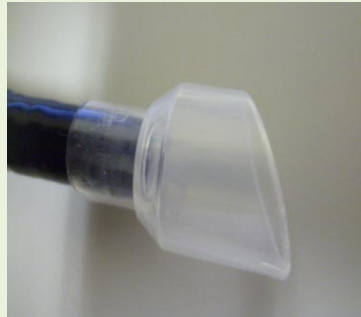
「Φ18.1mm 広口斜め型先端アタッチメント使用
による内視鏡的有鉤義歯除去の一例」

上部消化管異物に対しては多くの場合、内視鏡的摘出が試みられるが、有鉤義歯に関しては、尖鋭な鉤により食道穿孔等の重篤な合併症を起こす可能性があり、上部消化管異物の中でも最も内視鏡的摘出が困難で危険性が高い疾患であると報告されている。

胃に到達した異物の80%以上は自然排泄が可能であるとの報告がある一方、義歯を含めた鋭的異物は合併症を起こす確率が15~35%と高いため、緊急に摘出を要する。

【症例】86才 女性

【現病歴】 昼に焼きサバ寿司を食べた後、施設の職員が入所者の入れ歯がないことに気づき、当院の救急外来を受診された。



【経過】 腹部X-Pにて、胃内に異物が疑われたため、緊急内視鏡検査となった。写真のように先端透明フードを用いて義歯を摘出した。

【参考】 偶発症として、有鉤義歯摘出時に消化管壁を損傷して食道穿孔を生じ、手術を要した症例や、開胸手術となった中には、術後の縫合不全により死亡した例も報告されている。

義歯の摘出法として28例中22例に手術、5例に内視鏡的摘出、1例は自然排出と報告している文献もある。有鉤義歯の治療法は、十分なインフォームドコンセントのもと、内視鏡的摘出か手術かあるいは自然排出を期待するかを慎重に選択する必要がある。

[TOPICS 1]

「地域連携だより」21号の「症例報告」は、第5弾 消化器センターから中井 一成医師です。



現在、消化器内科の常勤医3名で入院・外来診療と内視鏡検査により消化管疾患の診断・治療を行っております。

さらに、休日・夜間においても24時間365日オンコール体制のもと、左記の症例報告のように緊急内視鏡検査の対応が可能です。

当院は、京田辺市周辺地域における拠点病院として、地域の開業医の先生方や住民の方々に、最適な医療をご提供できますよう一丸となって日々邁進しているところであります。

特に、京都府立医科大学附属病院の消化器内科医局の支援をいただき、あらゆる消化器疾患の診断・治療はもちろん、消化管がんの早期発見し、早期に治療を受けていただけるよう努力しております。

田辺中央病院の消化器センターとは、消化器外科医師らと消化器内科医師とのスムーズで強力な連携の形を表し、またクリニカルパスを活用することにより、患者様には入院期間ができるだけ、短縮できるよう努めております。

1泊2日入院 白内障手術の御案内

平成24年6月より、田辺中央病院の眼科にて1泊2日の入院白内障手術を開始することとなりましたのでご案内させていただきます。

京都府立医科大学眼科学教室のサポートのもとに、手術は畑中宏樹先生に行っていただくこととなりました。

最新鋭の手術器械、手術材料を整えましたことに加え、ご入院の上の手術となりますので、高齢の方も慢性疾患治療中の方も安心して治療を受けていただく環境を準備してスタッフ一同取り組んで参ります。

眼のご症状でお悩みの方がおられましたら、当院の眼科外来をご受診されますようお願いいたします。



左：カールツァイス社製・眼科手術顕微鏡 中：白内障手術装置
右上：光干渉式眼軸長測定装置 右下：角膜内皮観察解析装置

地域で活用していただく 専門診療科のご紹介

当院は、大学病院と連携して外来診療や入院治療を始め、手術、専門的な検査を実施しています。もちろん、これを受けまして、継続的な治療を行えるよう医局においても、各診療科医師の24時間365日体制の救急体制やオンコール体制で、地域住民が安心して生活できるよう、日々の医療に邁進しております。

予約制となっております。FAX診療申込票をお送りください。緊急の場合は地域医療連携室に電話でお申込みください。

★印は今春より新設した診療科です。地域医療連携室にてご予約させていただきますのでご利用ください。

専門外来	所属	医師名	曜日
小児外科	府立医大	田尻 達郎 教授	水曜午後
小児がん・アレルギー	府立医大	細井 創 教授	金曜午後
小児神経	府立医大	森本 昌史 准教授	木曜
小児循環器	府立医大	中川 由美 医員	水曜
循環器科	府立医大	山田 浩之 講師	水曜・木曜
産婦人科	府立医大	北脇 城 教授	水曜午前
産婦人科	府立医大	岩佐 弘一 講師	木曜午前
耳鼻咽喉科	府立医大	久 育男 教授	火曜午後
整形外科	同志社大学	北條 達也 教授	火曜午前
肝臓外来	府立医大	岩井 眞樹 講師	木曜
★神経内科	府立医大	吉田 誠克 助教	火曜
★腎臓内科	府立医大	足立 孝臣 医員	月曜午後
糖尿病内科	京都大学	小倉 雅仁 特定助教	火曜午前
泌尿器科	府立医大	本郷 文弥 講師	金曜午後
泌尿器科	府立医大	内藤 泰行 助教	木曜午後
手術検査	所属	医師名	
心臓カテーテル検査・治療	府立医大	中村 猛 講師	
関節外科手術	府立医大	藤岡 幹浩 准教授	
脊髄脊椎手術	府立医大	長江 将輝 講師	

田辺中央病院 地域医療連携室

直通 TEL/FAX 0774-64-0444

診療時間中は地域連携室にご連絡を、夜間休日は当直事務員が電話対応させていただきます。

患者様が来院される際はできるだけ詳しい情報提供をお送りくださいますようお願いいたします。

緊急時は、FAXも結構でございます。地域医療連携室から紹介患者様の「ご来院報告」をFAXでお送りし

ています。

担当医師からは治療方針等が確定次第、情報FAX若しくは「ご報告書」を郵送して、ご紹介患者様の状況をお伝えしております。急性期治療を終わられましたら、再び、かかりつけの先生方へはもちろん、地域の先生方に「逆紹介」を積極的に行わせていただいております。

発行：田辺中央病院 地域医療連携室

住所：〒610-0334 京都府京田辺市田辺中央 6-1-6

(直通) TEL・FAX 0774-64-0444

(代表) TEL0774-63-1111・FAX0774-63-2363

Eメール：chiren@sekitsukai.or.jp